

AIアートのデメリット

AIが使われるようになってから75年ほど経つ。最近では、AIアートと呼ばれる種類のAIに人気が集まっている。AIに画像を生成させれば自分で絵を描かないで済むため、人々はAIを使う。現在、人々はAIアートを頻繁に使っている。このような点から考えると、AIは未来のイラストレーターに大きなデメリットとなるだろう。私は作品にAIアートを使うことに反対だ。理由は三つある。

第一に、AIはインターネット上にある他のイラストレーターの作品を取り込んで学習しているので、人々はAIを使うことで同意なしに作品を使うことになる。つまり、イラストレーターが知らないうちに作品をぬすまれていることが多い。人々がAIを使って他のイラストレーターがの作品を取り入れる場合、作品の質は同じか、オリジナルより良いものになる。AIイラストレーターが他のイラストレーターの作品を使用して生成したアートを売する場合もある。

第二に、将来、AIアートがイラストレーターの職を奪うかもしれない。今起こっているというわけではないが、その兆候は表れている。例えば、ある雑誌の表紙はAI生成された絵を使っていた。その雑誌の表紙を描いてもらうために誰かイラストレーターを雇うこともできたはずだ。

第三に、イラストレーターをめざす人がAIアートを使いすぎると、絵を描く経験を積むことも上達することもできない。初心者にも関わらず、AIアートを使えば努力せずにすばらしいアートを作り出すことができる。他のスキル同様、絵を習い始めたばかりの時は上手に描けない。現在イラストレーターである人も繰り返し練習することで絵を書けるようになったはずだ。以前描いた絵と現在の絵を比較して見る時、どのように上達したかが見え、その進歩を誇らしく感じられるだろう。

確かに、絵の描き方が分からない人にはAIアートはとても便利だし、簡単に速く上手な絵を作り出すことができる。しかし、AIアートを使って作品を描くべきではないのではないかなと思う。AIを全く使うべきではないという意味ではない。AIは道具として使うものなので、アイデアを視覚化する場合などには役立つと思う。私は誰かAIアートを使い探している物の例を示すを見た。その後、その人は何かの同様を作る委託のイラストレーターを探した。こんなAIアートを使えば、大丈夫だと思う。